

# Studyaid<sub>DB</sub> information vol.53

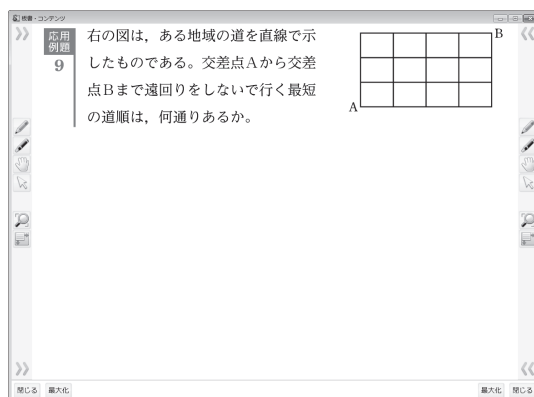
## 明日から使える！ 忙しい人のための プレゼンテーション入門

「数学はプレゼンテーションに向かないし…」  
「うちには電子黒板がないから無理かな…」  
いえいえ、そんなことはありません。

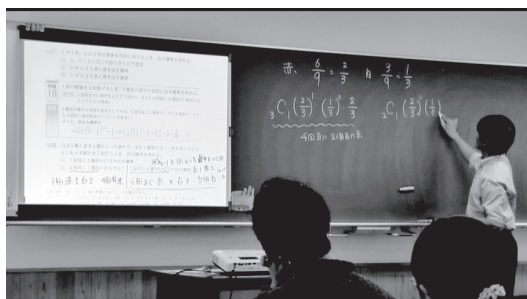
### 映し出すだけでも意味がある

黒板を主体とした授業に加えて、教科書の紙面を見せるだけでも十分にメリットがあります。

たとえば、説明に使う図を表示すると、板書の時間がカットできます。また、授業のメインとなる公式を、書き残しておきたいときなどにも有効です。授業のすべてをデジタルで行う必要はありません。黒板の隣に添えるだけでも効果があります。



黒板に書き写すのが面倒な問題も、映し出すだけなら…

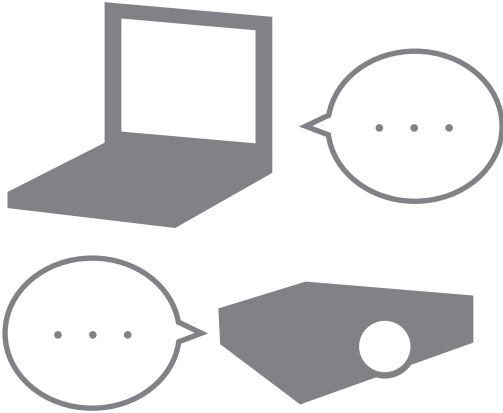


黒板にシートを貼ってプロジェクターで投影

### パソコンとプロジェクターで OK

「映し出すだけとはいえ、電子黒板がないから…」

そう思われる方も少なくないかもしれませんが、パソコンとプロジェクター（&投影する場所）があれば使うことができます。黒板に投影すれば、普通の授業の延長として利用できます。



動作が重かったり、物理的に重かったり…

## 準備に時間を取られるのは…

パソコンやソフトの起動に時間がかかることは、多くの方が経験済みだと思います。この時間が授業を圧迫するのであれば、事前にスリープなどにして持ち運ぶことをオススメします。また、プロジェクターやスクリーンの準備が大変な場合は、思い切って生徒にまかせてしまっはいかでしょうか。先生が楽になるだけでなく、生徒の自律を促せるかもしれません。

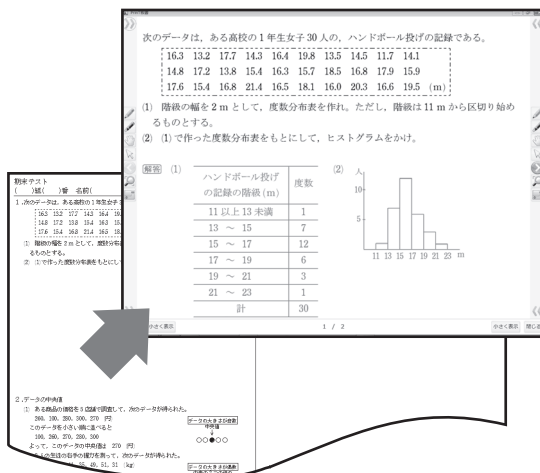
## 進度に合わせて教科書をチェンジ

「デジタル指導書 数学シリーズ」には、弊社発行の教科書5種類すべてを収録しています。

簡単に表示を切り替えられるので、ご採用の教科書とは違うものを引用することもできます。たとえば、生徒の理解度に応じて、発展的な内容を扱う教科書の問題に取り組んだり、易しい内容を扱う教科書の解説を利用したり、といったことができます。



一つのパッケージに5種類の教科書



Print ファイルを大きく表示可能

## 自作の教材も大きく表示！

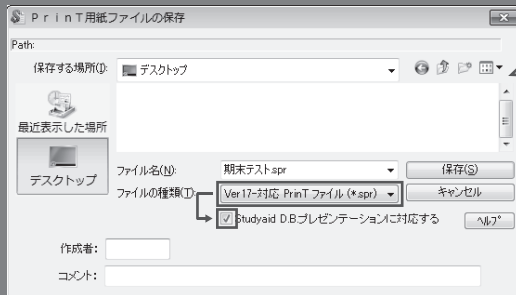
Studyard D.B. で作成した Print ファイルや、Word、一太郎などのファイルは、プレゼンテーションシステムから表示することもできます。教科書の紙面と同じように、拡大したりペンで書き込んだりといった Studyard D.B. の機能がお使いいただけます。特に Print ファイルについては、一問ずつ表示したり、解説だけを表示したり、様々な見せ方を簡単に行うことができます（くわしい手順は次のページへ）。

## 作ったプリントをプレゼンテーションシステムで表示するには …

### まずは職員室でプリント作成。



1. プリント作成システムを起動し、プリントを作成。
2. リボンの[ホーム]タブにて、[上書き保存]→[名前を付けて保存]をクリック。
3. [ファイルの種類]を“Ver17 対応 PrinT ファイル (\*.spr)”にし、“Studyaid D.B. プレゼンテーションに対応する”をオンに。

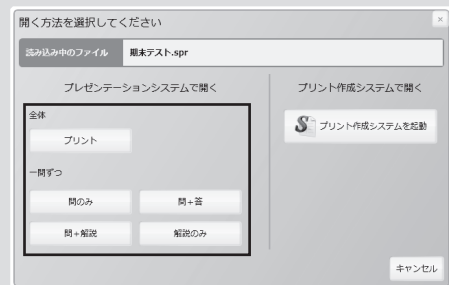


この形式で保存すると、両方のシステムで使えるようになります。



### いざ教室で授業！

4. プレゼンテーションシステムを起動し、何か書籍を選んだら [開く] をクリック。
5. 3. で保存したファイルを選ぶ。
6. 開き方を選ぶ。



プリントが表示されます。

作ったデータと  
パソコンを持って…